



Monthly

ビバイNEWS

2024 7月号

7 July

Topics of the Month

★夏の目標を決めましょう！

こんにちは。ビバイ代表の迫田です。夏休みが近づき、子どもたちのテンションが上がる時期ですね。保護者の皆様にとっては慌ただしい日が続くことになりますね。長期休みは、お子さまが成長できるチャンスです。何か1つで良いので、定量的な目標を立てて、実行してみると良いかもしれません。毎日15分の音読、毎日30分おうちのお手伝いなど、お子さまが取り組みやすい計画をぜひ立ててみてください。

Staff introduction

★Aya Barnett Miyoshi

<名前>三好 彩 (Aya Barnett Miyoshi)

<大学名>早稲田大学

<海外歴>日本とアメリカのハーフ。アメリカ生まれ、アリゾナ州18年

<保有資格>SAT 1470

<コメント>高校ではほぼAPクラスを取り summa cum laude で卒業しました。アリゾナでも中学生、高校生を対象に家庭教師を4年間行いました。お子さんに、「英語って楽しい！」を実感してもらえるようなレッスンを心がけています。



★Staff diary

早いものでもうすぐ夏休み。来月はお盆休みがありますね。お盆とは、その昔仏教が日本へ伝来した際に多くの仏教行事や習慣と共に持ち込まれました。そしてこれが時代を経て、日本独自の文化や習慣と融合し、現在のような【お盆】として広まったとされています。日本のお盆といえば「迎え火と送り火」「精霊馬」「盆踊り」などが一般的ですが、海外のお盆とはどんな行事があるのでしょうか。以下に代表的なものをまとめておきます。

・中国：【中元節】→時期は旧暦の7月15日で、死者の魂を慰め供養する日。特徴としては、紙のお金や贈り物を炊き上げることで先祖に贈るそうです。

・メキシコ：【ディア・デ・ロス・ムエルトス】(死者の日)→時期は11月1日から2日間。個人を迎えるためのアルターやオフレンダ(供物)を作ります。カラフルな衣装やスカルメイク、マリーゴールドの花、パン・デ・ムエルト(死者のパン)などの特有の料理や装飾が特徴です。

・アメリカやヨーロッパ：【ハロウィン】→時期は10月31日で、死者や霊を迎える夜。ただし、近年では元々の宗教的意義は薄れ、現在では主に子供たちが火葬をしてお菓子をもらいに行く行事として知られています。

各国における死者を迎える行事や祭りは多様な形を持っています。日本だけでなく諸外国も地域ごとの歴史や習慣に根ざした独自の風習を持っているため、お子様の興味のある国の【お盆】を調べてみるだけでも広がりますよ！是非ご家族で調べてみてください。(松本)